
ポケットモンスター シゲル・サーガ ミューツー

川瀬京一朗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポケットモンスター シゲル・サーガ ミューツー

【Nコード】

N2307D

【作者名】

川瀬京一朗

【あらすじ】

かつて、トキワジムで出会った謎のポケモン…それがミューツーというポケモンであったと知ったシゲルは…

第1話

闇に包まれた孤島…

そこにはポケモンの研究を行う一人の博士…

「ナンギ博士…」

「ナンギじゃない、ナンバじゃ。」

「もう休まれた方がよろしいのでは？」

「これが休まずにおれるか。」

「一体何の研究を？」

「ヤマトくん、君は最強のポケモンと聞かれて、何を想像する？」

「さあ？検討もつきません…育てたレベルや覚えた技…何より、トレーナーとの相性もありますし、トレーナーによってそれは違うのではないのでしょうか？」

「そう。どんなポケモンも最強になれるのじゃ。…しかし、それは、あるポケモンを除いた場合じゃよ。」

「あるポケモン？」

「どんなポケモンも最強になれる、それゆえ、どんなポケモンも…たとえ伝説のポケモンであろうとも、ある限界がある。…だが、唯一、人の力によって、その限界を超えたポケモンがおる。」

「人の力？化石ポケモンですか？」

「そんなものは、昔おったものを復活させたにすぎんよ。限界を超え最強に値するポケモン、それは…ミューツーじゃ。」

「ミューツー？先代の首領の代に開発されたというポケモン…ロケット団の都市伝説のことですか？」

「都市伝説？何を言うところ？」

「しかし、誰もその姿を覚えていないのですよ。あるのは、少量のデータのみ。…もし、本当に存在したのなら、もっと膨大な量のデータが残っているはずです。それに、ミュウですら、その存在が伝説と言われているというのに…」

「…いるのじゃよ。少なくとも、理論上は可能じゃ。…今、コサンジくんにデータを集めさせとる。…誰も覚えていないのは、記憶を消されたのじゃろ。」

そのとき…

「…コサンジじゃなく、コサブロウだそうだが？」

「誰じゃ？」

「別に。ただのポケモントレーナーさ。…その男に話は聞いたよ。ロケット団をわざわざ倒すほど、お人好しじゃないが、話を知ってしまった以上、無視もできない。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2307d/>

ポケットモンスター シゲル・サーガ ミューツー

2010年10月8日13時03分発行